

高志台

学園だより

高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに” (越の国・古志の国・高志の国) と呼ばれていました。学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台 (こうしだい)」と命名しました。

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台 思い出のアルバム	04
さよなら高志台 (卒業生)	05-09
さよなら高志台 (専攻科修了生)	10-11
さよなら高志台 (留学生)	12-14
さよなら高志台 (退職する教職員)	15
1年を振り返って	15
卒業生・修了生表彰・進路状況	16



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

卒業生・修了生に贈る言葉



3つの「V」

校長 小林 幸夫

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、卒業ならびに修了おめでとうございます。

保護者の皆様のお慶びもひとしおのことと存じます。教職員一同心からお祝い申し上げます。

卒業生、修了生の皆さんは、新型コロナウイルスの影響で、思うような学校生活が送れなかったかもしれません。遠隔授業も何回か経験することになりました。それでも皆さんは、入学時に比較して心身ともにたくましく成長されました。厳しいカリキュラムをこなし、身につけた知識・技術はこれからの人生において大きく役に立つことでありましょう。

今、日本ではイノベーションを引き起こせる人材が求められています。皆さんは、この長岡高専で、イノベーションを引き起こすための基礎を学び、卒業研究や特別研究で、新たな知見を得るための考え方を修得したと思います。是非これらの力を実社会で思う存分発揮して下さい。

私たちの社会は、これまで経験のないほどの大きな時代の変化の中にあります。特に、情報技術の急激な進歩は目を見張るものがあります。生成AIに代表される高度な情報技術が社会や私たちの生活の隅々まで浸透し、これまでにない新たな価値観を生み出し、新しい社会制度や生活様式が築かれようとしています。我々が経験する変化は、これまでの延長線上にはない劇的な変化です。その中で人間らしく豊かに生きていくために必要な力は、これまで誰も見たことがない特殊な能力では決してありません。むしろ、どのような時代を迎えるとしても、知識・技能、思考力・判断力・表現力をベースとして、言葉や文化、時間や場所

を超えながらも自己の主体性を軸にした一人一人の創造的能力や人間性が問われることとなります。

このような厳しい社会環境に長岡高専を旅立つ、卒業生及び修了生に、臚（はなむけ）として3つの「V」を贈りたいと思います。

最初のVはVisionです。今、君たちは卒業、修了にあたり、これからの新天地に期待をしていることと思います。そこでこんな事をしたいと夢を持っていると思います。その夢を実現するためにどうしたらいいかというVisionを是非持って下さい。明確なVisionでなくても、漠然とでも良いから自分のやりたいことを実現するための、将来のあるべき姿を思い描いてほしいと思います。

しかし、Visionを実現するためには、予想もしないいろいろな困難が待ち受けています。今の時代、何が起きるか分かりません。非常に変化の激しい時代です。そのような困難の時には、2つ目のVであるVenture精神で乗り切して下さい。果敢に挑戦する心で、困難な問題にあたってほしいと思います。時には冒険することも必要でしょう。

冒険をして困難を乗り越えるには、3つ目のVである、Vitalityが必要です。何をすることも健康な心身が必要です。日頃から健康に留意し、生命力、活力を維持することを心がけて下さい。

この3つのVを意識して行動すれば、最終的には4つ目のV、Victoryが待ち受けていることと思います。皆さんの今後の活躍を期待します。

最後に、人生で最も多感な時期に、長岡高専で共に勉強し、苦楽を共にした友は、一生の宝です。これからも連絡を取り合い、互いに協力し合い励まし合って、さらなる友情を培われることを期待します。たまには連れ合って元気な顔を見せに学校を訪ねてきて下さい。

本日は、誠におめでとうございます。





自分を信じて、目指せ!! 「世界を変えるイノベーター」

後援会長 佐藤 勇

このたび、ご卒業・専攻科修了を迎えられた皆様、また学生の成長を最も身近に支え、共にこの日を迎えられた保護者の皆様、本当

におめでとうございます。

更には、学生を熱心に指導し、その成長を支えてくださった、小林校長先生をはじめ教職員の皆様、大変ありがとうございました。後援会を代表し、心より御礼を申し上げます。

みなさん、入学したときに思い描いていた将来の自分に近づいていますか？

15歳のとき、学びたいことをよく考え長岡高専を選び、入学したみなさんですから、より深く多くのことを学び、多くの人たちと出会い、いろいろなことにチャレンジし、大きく成長したことでしょ

う。みなさんの学生生活においては、新型コロナウイルス感染拡大により人々が行動を制限され、やりたいことができない、将来の見通しが立たない、そんな時期が長くあり、やるせない気持ちや不安に押しつぶされそうになったときもあったことでしょう。

そんな中でも、自分を見失わず、変化する社会に適応し、できることに精一杯取り組んだ日々においては、新たなデジタルスキルの習得や新たな自分の発見など、たくさんの貴重な経験もしたことでしょ

う。このコロナ禍のように、現代社会は予測不能で変化も速く、みなさんは、ますます混沌とした時代を生きていかなく

てはなりません。社会にできれば、用意された正解はほぼありません。あふれる情報を取捨選択し、自分の頭でよく考え、判断し、いろいろな人たちとも協力し、前に進んでいかなければなりません。

長岡高専を選び入学し、自主性を重んじ自由な校風といろいろなことにチャレンジできる環境の中で、コロナ禍を乗り越え、自身のやりたいこと、やるべきことに取り組み、大きな環境変化に適応できたみなさんなら、それができるはず

です。みなさんの将来にはたくさんの可能性があります。苦しいこと、うまくいかないこともたくさんあるでしょう。そんな時でも、諦めず、挑戦し、自分を信じて、自らの手で未来を切り開いてください。きっとなんとかなります。

また社会は、この先の大幅な人口減少が避けられない中で、これまでの暮らしを維持し向上させていくために、科学技術の力を最大限活用し社会の担い手不足を補うことが必要です。社会を支える様々な技術の大幅な革新が求められるで

しょう。みなさんが、長岡高専で学んだことを礎に、更に知識・経験を重ね、『未来を予測し世界を変えるイノベーター』として、より豊かな社会への変革に貢献していくことを期待しています。

最後に、卒業生・修了生の皆様の今後の更なるご活躍を、長岡から心より楽しみにしております。



災害に備える技術

同窓会長 古田島 智裕

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。

様々な困難や制約のなか、学生達を支え導いてくださった先生方や保護者の皆さんに感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

本年1月1日に発生した能登半島地震の被害にあわれた方々に、この場をお借りしてお見舞い申し上げます。もしかすると、皆さんの進学先や就職先が地震の影響を受けているかもしれません。早期の復旧をお祈りします。度重なる自然災害に対して、予報の技術は進んでいるものの予防はなかなか出来ないため、発生後の対応が迅速にできるような検討が必要です。

インフラの早期復旧、仮設住宅の建設など、通常では発生しない事に対して、技術は何もできないはずはありません。皆さんも、自分に何が出来るか考えてみませんか。

また、1月2日に発生した羽田空港での事故はヒューマンエラーの可能性があり、自動化が進んでいる分野でもいまだ人間に係わる部分での不安はぬぐい切れていません。まだまだ、改善が必要なところでしょう。

在学中、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、多くの制約の中での学生生活であったと思います。そんな中で、昨年5類感染症へ移行されたことにより生活はだんだんと元のように戻り、今ではコロナはあまり話題に上らなくなりました。

しかし、ウクライナ情勢は変わらず、加えてガザ地区でのイスラエルとハマスの戦闘が始まり、どちらも休戦への道のりは見えていません。世界情勢は大変不安定な状態となり、世界終末時計は90秒と発表され、2年連続で過去最短期間を継続しています。

このような中で、今年の卒業式はコロナ前と同様に開催され、式後の祝賀パーティーも行われるようで、久しぶりに普通の状態に戻ります。

この普通を当たり前と考えず、感謝しなければいけません。今までの学生生活でお世話になった教職員の皆さん、家族、そして仲間のおかげで今日があります。

特に、同級生は皆さんの学生生活で大きなウェイトを占めた存在ではなかったでしょうか。これからも、この繋がりを途絶えることなく、これからの人生に活かしてください。

他にも高志台での学生生活で培った知識やスキルがたくさんあると思います。それらを活かし、社会で皆さんが活躍することを楽しみにしています。

明るい未来を創る皆さんを応援しています。ご安全に！

さよなら高志台 思い出のアルバム

2019-2023



2019.4.3 入学式

平成最後の入学式にて、本科1年生215名、専攻科生50名、総勢265名が新たに本校の一員に加わりました。



2019.4.9~10 1学年合宿研修②



2020.12.15 クラスマッチ



2022.9.26~29 見学旅行②



2022.11.5~6 学園祭



2023.11.3~4 学園祭

2019

- 1月 大坂、全豪テニス初制覇
- 3月 イチロー引退、日米通算4367安打
- 5月 「令和」に改元
- 7月 はやぶさ2「りゅうぐう」に2回目着陸
- 10月 消費税10%スタート
吉野彰氏にノーベル化学賞
ラグビーW杯で日本代表8強入り
首里城火災

2020

- 1月 英国がEU離脱
- 4月 新型コロナで国内緊急事態宣言、政府が布マスク配布、国民に一律10万円
- 6月 黒人差別の抗議、世界に拡大
- 7月 「Go Toトラベル」キャンペーン開始
- 8月 甲子園高校野球交流試合
- 9月 菅内閣が発足
- 12月 はやぶさ2のカプセル回収

2021

- 1月 アメリカ大統領にバイデン氏が就任
1都3県に緊急事態宣言
(新型コロナウイルス感染症)
- 2月 新型コロナワクチン接種開始
- 4月 原発処理水、海洋放出を決定
- 7月 東京オリンピック開幕
- 8月 東京パラリンピック開幕、新型コロナ変異株(「デルタ株」)が猛威

2022

- 9月 自民党総裁に岸田氏、首相に就任
- 10月 真鍋淑郎氏にノーベル物理学賞
- 11月 大谷翔平、満票でメジャーMVPに
- 1月 新型コロナウイルス感染症オミクロン株が猛威
- 2月 ロシアがウクライナ侵攻
北京五輪、日本勢のメダル冬季最多
- 4月 知床観光船沈没事故
- 7月 安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬
- 10月 一時1ドル150円台 32年ぶりの円安水準に

2023

- 11月 ヤクルト村上が56号本塁打、三冠王サッカー・カタルW杯が開幕
日本はドイツ・スペインに逆転勝利で決勝Tに1位で進出
- 2月 トルコ・シリアで大地震
- 3月 WBC侍ジャパン、14年ぶり世界一
- 4月 フィンランドがNATO正式加盟
- 5月 新型コロナウイルス感染症「5類」移行
生成AI急速に普及し、政府が「AI戦略会議」で政策の方向性の議論を開始
広島でG7サミット開催
- 8月 福島第1原発の処理水、海洋放出開始
ハワイ州マウイ島で大規模な山火事
- 9月 記録的猛暑、気象庁の観測史上、夏の平均気温が最高を更新
- 10月 藤井聡太竜王史上初の全八冠制覇
ハマスがイスラエルに大規模攻撃、イスラエルが報復
- 12月 大谷翔平2度目のMVP、10年7億ドルの大型契約でドジャース移籍



2019.4.9~10 1学年合宿研修①



2019.5.17 クラスマッチ



2022.9.26~29 見学旅行①



2022.10.12 体育祭



2023.5.16 交千祭



2024.1.30~31 卒業研究発表会



笑者
島田 佳祐

高専は私に挑戦することの大切さを教えてくれました。私には沢山転がっているチャンスから逃げたり、失敗を怖がっていた過去があります。そんな私の考えを変えてくれたのは、仲間たちそして大好きな先輩たちでした。この学校では失敗をして、踏み外すこともありましたが、それ以上に得られたものが沢山あります。最高の仲間に出会い、バレーに出会い、誘ってもらったプロジェクトに参加したり、そこでできた経験はとっても大きく間違いなく私を強くしてくれました。気づけば私には、その選択をしなかったら出会えなかった大切な人が沢山います。何かにつまずいた時に一緒に挑戦する仲間が居てくれたからこそ、挑戦することの大切さに気づけました。私は、様々なものを踏み台にしてきましたが、失くしてはいけないものがその分沢山見つかった気がします。

今後、自分がまたこれを読んで何かに挑戦している。そんな人生を楽しむ「笑者」になりたいと思います。ありがとうございます長岡高専。



あつという間の5年間
渡辺 陽登

入学した日から5年が経ち、あと少しで卒業を迎えようとしています。この5年間を思うと、様々な感情が込み上げてきます。

16歳で中免を取って仲間と温泉に行った日、友達のコネでバイトを始めた日、バイクで北海道の高専を巡った日、未工祭で推しのコスプレをした日、車で九州に行った日、挙げだしたらキリがありません。どの出来事も高専だったからこそ出来たであろう、大切な思い出です。

正直、私は真面目な学生ではありませんでした。しかし、やりたいこと、やってみたいことに真面目に取り組める高専生にはなれたと思います。そんな私と一緒に旅に出たり、挑戦したり馬鹿なことをやってくれる最高の仲間との出会いは一生の宝物です。仲間と過ごした5年間はあつという間に過ぎていきました。卒業は名残惜しいですが、高専で得たことを糧にして大学でも楽しんでいきます。最後に高専生活でお世話になったすべての方々へ、本当にありがとうございました。



いよいよ旅立ちの日ですね！
3～5学年クラス担任 井山 徹郎

3年前、新型コロナウイルスの世界的な蔓延に終わりが見えず、様々な活動が制限されて先行きが不安な中で皆さんの前でどんな挨拶をしようか悩んでいました。それから3年たった今、皆さんへの卒業のメッセージを考えているのですが、今度は書きたいことが多すぎて紙面に収まらず、やっぱり悩んでいます。悩みに悩んだ末、ありきたりではありますが私から卒業する皆さんへのエールとアドバイスをこの場を借りて送りたいと思います。

高専を卒業した皆さんは自分たちが思っている以上に優れた技術と知識を兼ね備えています。社会に出る人、専攻科や大学で研究活動に励む人、今後の皆さんの様々な人生に長岡高専で得られた経験、知識、技術が役に立つときは必ずあります。自信と誇りをもって次のステージで大活躍してください。そして、高専生活で培った友人、先生とのつながりはいつまでも続いています。仕事や研究で悩んだとき、家庭をもったとき、暇すぎて何もやることがないとき、いろいろなタイミングで高専の仲間や先生に連絡してください。きっとその時のあなたを元気にしてくれること間違いありません。

皆さんのこれからのご活躍をお祈りしております。ご卒業おめでとうございます！



ご卒業おめでとうございます
2学年クラス担任 佐藤 秀一

皆さん、ご卒業おめでとうございます。(この原稿を書いている時点で、まだ私とともに物理学の醍醐味を味わっている諸君がいらっしゃるのがちょっと気になりますが…)

皆さんとは2学年時の担任として関わったわけですが、その年度当初はコロナ禍の真ただ中で初めの2か月ほどは自宅待機、登校が始まってでも皆マスク着用、皆さんの顔は覚えられないし、だいぶ戸惑いました。冬のスキー合宿にも行けず、その他の諸行事もつぶれ、かなり残念な1年だったと思います。

それでもその後学校の活動が徐々に正常に戻っていく中で、長岡高専に在学した皆さんは、学業にしても、課外活動にしても、同世代の一般高校に進んだ方々とは違った体験ができたことは確かだと思います。中には大変貴重な体験もあり、結果として皆さんは同世代の中ではユニークな存在になったのではないかと思います。今後、高専を出てそれぞれの道に進まれるわけですが、どこに出て行ってもそのユニークさが活かされる場面がきっとあると思います。高専での体験を活かしつつ、どうぞ存分に活躍してください。そして、卒業してしばらくしたら、ぜひまた訪ねてきてください。近況やご活躍の様子など様々な話が聞けることを、楽しみにしています。





学び
関 寛夏

突然ですが、あなたに夢はありますか？
高専生活ではたくさんのことを学びました。勉強はもちろん、資格試験や共同生活etc.高専に入学してからは新しいことばかりで、この5年間で積んできた経験をあげたらきりがありません。

そんな中で私はたくさん夢を見つけました。1つ目の夢はゲームの大会で優勝を勝ち取ることです。私は今までゲームをすることがほとんどありませんでした。しかし、入寮してからはTPSゲームや格闘ゲームなど様々なゲームに出会いました。ゲームは遊び、たかが遊び、されど遊び、私は本気で遊ぶことやゲームの奥深さにはまってしまったのです。2つ目の夢はルービックキューブで世界記録を出すことです。些細なことからはまった夢ですが本気で取り組める遊びに出会うことができました。

この5年間で沢山の人の人にお世話になり、様々な思い出や経験をすることができました。高専生活が人生の良い転機になったと思います。皆さんありがとうございます。



もう一歩前へ
堀川 真音

人に助けられてばかりの5年間でした。部活や課題、研究など全てにおいて何か1人でやり遂げたことなんてなく、常に側にいてくれる誰かに協力を仰いでいました。振り返ると学年を重ねる毎に頼る人や回数は増えていったように思います。人間関係において、優しさや愛情を与えた分だけ、必ずしもそれが返ってくるとは限らないとは思いますが、それでも見返りを求めることなく、優しさを振りまき、人を助けまくるスーパーマンがこの学校には何人もいます。そんな人々には本当に頭が上がりにません。学校でだる絡みをして仲間たちはいつも優しくしてくれました。後半は流されることも増えましたが本当に感謝しています。高専では文化祭でパフォーマンスをする人や、海外に留学する人を見て自分には無理だなと思いつつも、一歩踏み出して行動することの大切さを深く学びました。

4月からは社会人になります。きっとこれから出会う人たちにも助けられてばかりでしょうが、誰かを支えたり必要とされるような存在に少しでもなることができたらと思います。



笑顔を大切に
3～5学年クラス担任 平井 誠

ご卒業、誠におめでとうございます。ご家族皆様のお喜びもひとしおのことと存じます。

振り返ると担任として、色々な場面で学生と向き合うことがありました。上手く話を聞いてあげられなかったり、対応を間違えてしまったりしたことが多かったと反省しております。

そんな中でも、学生に助けられることが沢山ありました。また、学生の成長を感じられる場面に数多く立ち会えたことは大きな喜びです。どんな人間でも一人ですることには限られていると思います。しかし、皆で協力すると大きな力が生まれます。長岡高専を卒業して、次のステージに立った時も、これまでと同じように友達や家族といった周囲の人達を大切にしてください。

最後になりますが、新たな門出に際し、皆様の健康と更なる飛躍を心よりお祈り致しております。



銀木犀
2学年クラス担任 福田 昇

卒業生へ。君たちの生きる姿は、誰かに影響を与えて欲しいと思って生きてほしい。私には父がそうでした。30数年前小さな家を建てたとき、父は庭木があった方がいいと言って、金木犀を持ってきてくれました。この木は父にとって、いわく付きの木でした。植木屋で銀木犀を買い求め、植えてみたら金木犀だったのです。玄人が売り物を見間違えることはあり得ない、あれは意図的だと父は言っていました。その木をわが家の庭に植えたのです。父は金木犀が嫌いなのではなく、求めてないものを見たくなかったのです。無口な父は、口に出したことは守る人でした。移植された金木犀は、すくすくと育ち、毎年濃緑色の葉にオレンジ色の花を密生させ、甘く強い香りを放ちました。その後父が亡くなってから、近所の古民家に銀木犀があることを知り、見に行きました。花は目立たず、香りもわずかに漂うだけでした。我が家に金木犀と一緒に植えた父の姿がありました。人はどこかで生きているのです。





長岡高専、感謝感謝

羽田 伊吹

気づいたら5年間が経ちました。この5年間で何の出来事が起こったのか思い出してみます。

1発目の定期テストで赤点、終わりの見えない数理解習を経験した1年生。コロナ禍でぐうたら生活だった2年生。専門科目の難易度が爆上がりした3年生。3年間だけでもかなり濃い時間を過ごしましたが、4年生以降はこれ以上に濃いです。毎朝を迎えた徹夜レポート、過去1楽しかった研修旅行、人生の別れ目の編入学試験、研究中心の生活などなど…人生で忘れられない思い出をいっぱい経験できました。

大好きな先輩や後輩、常に一緒に過ごした友達、お世話になった先生方、高専生活でたくさんの人と出会えたことでとびっきり楽しい高専生活を過ごせました。5年間ありがとうございました！

担任の永井先生、田原先生、指導教員の皆川先生、たくさんご迷惑をおかけしましたがお世話になりました。心から感謝しています。

最後に、ここまで高専に通わせてくれた家族に感謝します。本当にありがとう。



経験

本間 三暉

長岡高専に入ってから5年間を振り返ると色々な経験をしたと思います。

台風によって83分遅延した電車、コロナウイルスによる自粛生活と遠隔授業、そのせいで消えたスキー合宿のかわりに生えたTOEIC、自粛明け初の体育祭の責任者としての企画運営、演劇、電制祭企画運営などなど。

いいことも悪いこともたくさん経験しましたしその一つ一つが泣きそうなくらい懐かしく貴重で大切なものですが、僕にとっての一番の経験はクラスメイトと過ごした何気ない日常です。

SHRの終わりにバス停まで走った放課後、休日に9時間籠ったカラオケ、試験の予想問題を出し合った15分、休校になった時間に食べに行くラーメン、爆音のいびきが聞こえる数学、誰も手を挙げる物理。挙げればきりがないでしょう。

でもそんななんでもないような日常が一番の経験でした。

たくさん経験と成長をさせてもらった友人たちや先生方、関わったすべての方々に感謝しています。本当にありがとうございました。



未来に向かって

3～5学年クラス担任 永井 睦

4月から社会人になる人、大学や専攻科に進学する人、皆さんはこれからそれぞれの道を進むこととなります。高志台で過ごしたこの5年間は皆さんにとって忘れることのできない日々だったと思います。社会に対する考えも大きく変化したのではないのでしょうか。コロナ禍で、思わぬ足踏みを強いられて、もどかしさを感じる生活が続いていたと思いますが、これからの人生を深く考える機会も時間もあつたのではないかと思います。

人間万事塞翁が馬、という言葉があります。

アイザック・ニュートンが疫病から逃れた疎開先で思索を深めた結果が、微積分学や万有引力の発見に繋がったように、世の中には、大きな禍のあとに歴史に残る仕事をなす人がしばしば現れます。

皆さんも、これからは思う存分まっすぐに前に進んでください。

世の中も皆さんの活躍を待ち望んでいます。

卒業おめでとう。



困難と、それに打ち克つ5年間

2学年クラス担任 田原 喜宏

1年の混合学級から引き続き、皆さんの2学年の担任を務めました。この年から我々は非常に大きな変化に見まわれました。2020年初頭からのCOVID-19感染拡大に伴い、最初の一ヶ月程は休校、学校が始まって遠隔授業と、前期の間は週に一度顔を合わせる程度であったのはとても残念です。また、顔を合わせても皆マスクをして表情もなかなか見えず…と大変な困難を伴う5年であったようにも思います。しかし、困難に対して知識、技術を用いて克服する経験を積みました。これは皆さんだけでなく私にとっても大きな経験です。とくに、成長著しい年頃に経験を積めたのは見方を変えれば皆さんにとって他の世代にはない強みにも繋がるのではないのでしょうか。

また、学校行事も学年が上がるにつれ徐々に開催されるようになりました。4年で一緒に行った見学旅行では、大人になった皆さんと過ごせたのは嬉しい思い出です。

これからも進学・就職した先で様々な困難に出会うことですが、高専で学んだ知識と、困難を克服する力をもって乗り越えてくれるものと思います。それでは卒業おめでとう。





いつかの事 齊藤 壱

次の日また会うに決まっている友達にさよならを言うのは、いつだってなかなか楽しいものです。そんな、毎日を重ねたような高専生活でした。今、卒業が目と鼻の先まで迫っています。15歳から20歳までの延々とも思える時間、あっという間だった、とは言いません。それは自分の胸に満ちた充足感に背を向けることになる気がするからです。これから私たちは次の厳しい環境に想像以上の苦労を強いられます。そこで毎日必死にもがき、乗り切り、そして、そのうちその場所にも馴染んでいくに違いありません。そして高専で過ごした日々を「そんなこともあったな」「懐かしいな」と昔見た映画と同じ程度の感覚で思い返すくらいになり、結局私たちはバラバラになる、なんてことはまるでない、はずです。

p.s. 私事ですが、どうしても一緒に卒業したかった奴が2人います。彼らはこれを読まないかもしれないけど、どうか未来が暖かく希望に満ち溢れたものになることを願っています。



学びを生かす子ども 山口 ひより

小学校の教育目標でした。8年経った今、学びを生かすことに難しさを感じています。

入学してから今まで、非常に多くの方に良くしていただきました。感謝してもしきれません。正しいことを教え正しい道を示してくれた先生、快適な学校生活を支えてくれた職員さん、5年間1日たりともお世話にならなかった日はありません。後輩たち、今までありがとう。迷惑をかけたこともあったけど、頼ってくれて慕ってくれて嬉しかったです。有難いことにたくさんの後輩が仲良くしてくれましたが、ひとり残らずみんな大好きです。お世話になった教職員の皆さまと私の愛する可愛い後輩たちに、明るく幸せな未来が待っていることを祈っています。

8年後の私が、人類の未来を切りひらく感性ゆたかで実践力のある創造的技術者になれるかは分かりません。でも高専で培った力を武器に、日本の未来くらいは切りひらいてやろうと思います。

5年間ありがとうございました。高志を抱いて春からも頑張ります。



マインドチェンジで楽しい人生を！ 3～5学年クラス担任 赤澤 真一

卒業おめでとう！3年生の時はまだまだコロナの影響で行事も少なかったですが、4年の見学旅行が実施出来たことは本当に良かったと思っています。全員で温泉旅館に泊まり、風呂で語ったり楽しかったなあ。ところで皆さん高専生活で何か一つでも一生懸命打ち込んだ、頑張ったと胸を張れることはありましたか（少なくとも半年～1年以上の取り組み）？もしなければ早く経験して下さい！なぜか？文句を言う人ほど、物事を適当にしている人が多いです。つまらないと思っていたことも一生懸命する事で本質が見え楽しく感じる様になる事が往々にしてあります。それでも行き詰まったら、現環境を俯瞰して下さい。新たな発見があると思います（例、長岡高専はいかに恵まれた環境であったか等、外から見ると分かることも多い）。全力で取り組んだ事は絶対に無駄になりません！今は叱られにくい世の中ですので、社会にでたら出来ない人はほったらかしにされます。“正しく”叱られている内は見込みがあると思われていると捉えましょう（ほんまは誰も怒りたくない）。遊びも仕事も研究も全力で（疲れたらたまに休憩）！もちろん一番大事なのは健康！文句ばかりの人生は楽しくない！マインドチェンジで楽しい人生を歩んで下さい！近くに来たら是非遊びに来てね！



I' m possible 2学年クラス担任 桐生 拓

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。コロナ禍で数多くの休講や遠隔授業などで困難の多い学生生活を過ごしてきた皆さんと今日を迎えることができ大変感慨深く思っています。

あらためて振り返ると、皆さんはこの5年間学校だけでなく日常生活の中でも好むと好まざるとに関わらず社会の要請からさまざまな制約を強いられてきました。その中でも創意工夫し、学園祭や見学旅行などをやりとげたことは、皆さんにとって貴重な思い出となっているのではないのでしょうか。

Impossibleという言葉は「I」(少しの工夫)を加えるとI' m possibleと全く逆の意味になります。これは、近年スポーツ界でパラアスリートを表現する言葉として用いられています。コロナ禍でより多くの困難に直面し、それらを乗り越えて今日を迎えた皆さんが、これまでの高専生活を糧に皆さんらしい「I」でそれぞれのフィールドで活躍されることを楽しみにしています。





5年間の思い出と感謝

小嶋 美結

長いようで短い5年間の高専生活は仲間と過ごした日常や学校行事など良い思い出がたくさんあります。

私たちは2年生の時にコロナの影響でスキー合宿がなくなり、授業もオンデマンドに変更されるなど、クラスの人と顔を合わせる機会が減りました。さまざまな制限がある中で、クラスのみならず仲良くなれないのではないかと心配していましたが、3年生の学園祭ではみんなでおそろいの制服を着て一致団結して作りあげた出し物はとても楽しく、忘れられない思い出になりました。行事以外でも、友達と教えあって乗り越えた難しい試験勉強や休み時間のたわいもない会話など大切な思い出ばかりです。

最後になりますが、お世話になった先生方、クラスの皆さん、本当にありがとうございました。来年からなかなかみんなと会えなくなるのがとても悲しいですが、この5年間で得た大切な経験を無駄にすることのないようにそれぞれの道で日々成長していきたいと思っています。



ありがとう高専

高橋 悠介

5年間の高専生活は、とても早く感じました。部活、レポート、テスト、バイトに追われる日々が続いて大変な時もありましたが、今思うと飽きのない学生生活だったと思います。そんな学生生活の中で、特に思い出深いものを2つ紹介します。

1つ目は、部活です。人見知りな自分ですが、部活を通して多くの友達を作ることができました。また、1年生の入部から5年生の引退までやり遂げたことは大きな達成感を感じ、自分の中で自信にもつながりました。

2つ目は、研修旅行です。2年生時のスキー合宿がコロナにより中止になってしまい、クラスの仲を深める機会がなかなかありませんでしたが、研修旅行を通してクラスメンバー同士の会話が aumentado 気がしました。このクラスの一員になったことがとても嬉しいです。

5年間の高専生活で支えてくれた友達や先生方にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。



1. 人に頼ろう 2. お金は大事

3～5学年クラス担任 衛藤 俊彦

コロナが落ち着きつつあるころから皆さんの担任となりました。学園祭や見学旅行も行うことができ、学校での思い出を多く作ることができたのではないのでしょうか。これからそれぞれの進路に向けた新たな道を歩み始める皆さんに、私がこれまでの経験で得た、大事だと思うことを二つお伝えします。

「困ったときには人に頼ろう」これから先の人生で、いろいろな困難にぶつかることも多くあるはずですが、そんなときに人に頼らず我慢して自分だけで抱え込み頑張っても、どこかで限界が来てしまいます。限界が来てからでは遅いです。そうなる前に周りの人に相談し、頼ることを心がけてください。

「お金を大事にしよう」卒業して就職する人はもちろん、進学する人もいずれは社会に出て働くこととなります。自分の生活は自分の給料でやりくりしていくこととなります。病気や自然災害など、自分の身にいつ何が起きるかわかりません。お金があったらあるだけ使うのではなく、少なくとも数か月無収入でも生活していけるようなお金は貯金しましょう。

皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからのご活躍を期待しております。



思い出

2学年クラス担任 鈴木 覚

担任を務めた令和2年度は、休校から始まりました。その前年度に、突如、新型コロナウイルスのニュースが出て、世の中は一変しました。令和2年度は、対面授業の再開も遅れ、学生会事もほぼなくなりました。日本ではまだワクチン接種も始まっていませんでした。2年生で一番大きな学校行事、2泊3日のスキー合宿研修も実施を断念しました。楽しみにしていた人も多かったと思うので、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。そういう気持ちを引きずっていたので、4年次の見学旅行が実施できた時は安堵しました。まだコロナ5類移行前でした。これも行けなくなったら旅行の思い出が一つもないことになる、と心配していたのです。見学旅行には同行もさせてもらい、みんなの楽しそうな顔を見ることができました。本当にうれしかったです。人生、何が起きるか分からないということを、身をもって知ったみなさんだと思います。これからの人生で何が起きようとも、コロナによる大変な状況を乗り越えたみなさんなら、きっと乗り越えていけると 생각합니다。ご卒業おめでとうございます。みなさんの幸せをお祈りしています。





自由の対価

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）
樺澤 啓太

長岡高専は自主性を重んじる学校です。これは良い意味に受け取れますが、実は大きな落とし穴でした。普通の高校とは違いこれといった校則もなく、自分の好きなように学校生活を送れます。髪も染められるし寝ていても注意されません。そのツケが回ってくるのは毎年度末です。一緒に入学したはずの友人たちもだんだん居なくなり、卒業式の頃には10人以上いなくなっていました。大学生の歳になると授業も少なくなり、かなり自由な時間が増えます。しかし、何も考えていなかった頃の自由な時間というものはかなり苦痛だった気がします。昼に起きてダラダラしていると1日が終わっているなんてことはザラでした。罪悪感や虚無感に襲われますがなぜか抜け出せないのです。この負のループから抜け出せない人が脱落していくというのが高専の落とし穴です。ずっと自由というのも意外に楽しくないものです。ずっとバイトや勉強というのも大変です。日々頑張らなくて勉強や仕事をしている中に自由があるから楽しいみたいです。高専生活で学んだ知恵を社会に出ても生かしていけるよう頑張ります。最高でした高専。



して様々なコンテストに参加したことは、自分を成長させる貴重な機会であり、失敗や成功から多くのことを学びました。また、海外での学会発表経験も得て、専門分野の知見を広げるだけでなく、自分の世界を大きく広げることができました。学園祭では友人と露店を運営したり、研究室のメンバーでカフェを開いたりし、心に残る思い出ができました。

振り返れば、長岡高専での7年間は、成長し、学び、経験を積むための至上の時間でした。課外活動や研究、友人たちとの日々、先生方からの温かいご指導、これら全てが私を形作る大切な要素となっています。

卒業を迎える今、心から感謝の気持ちでいっぱいです。大きな宝物を胸に、新たな日々に向かって進んでいきます。ありがとうございました。



7年間を振り返ると

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）
酒井 じゅりあ

この7年間という長い日々を振り返ると、身長はともかく精神面ではかなり成長したように思います。人生初のアルバイトで鍛えられた観察能力や空気を読む力、地獄？の数理演習で鍛えられた集中力や忍耐力、なによりも3年間の研究生活ではこれから技術者として生きていくのに大切な多くの事を学びました。

特に専攻科に入ってから2年間では、研究室に専攻科生が自分しかおらず、自分一人で複数の後輩の指導をして責任も負うという中々大変な状況でした。ここだけの話、3年間で先生に叱られた回数は数え切れず正直嫌になったこともあります。その度に乗り越えて知識も増え、メンタルも強くなり今の私があります、ありがとうございました。来年からはプラントエンジニアとして設計などに携わるので研究からは離れますが、研究生活で得たスキルを駆使して幾多の壁を乗り越えて世界のエネルギー供給に貢献してみせます。

最後に専攻科生の仲間たちへ、本科の時にはあんまり関わりがなかった人とも専攻科に入ってから仲良くなって



3分の1

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）
池上 隆生

7年間にわたり、長岡高専の学び舎で歩んできた日々が、とうとう幕を閉じます。この期間は私にとってまさに宝物であり、様々な経験や出会いに恵まれた充実の日々でした。

入学当初、15歳で山奥の学園に足を踏み入れ、今ではその場所は単なる学び舎ではなく、家と同じくらい心地よい場所となりました。電気科に身を投じ、専門の知識を深める中でさまざまな活動に挑戦しました。特に仲間と協働

とっても楽しかったです。全国各地へ散り散りになりますが、近くに来たら（私はたぶん横浜にいます）飲みに行きましょう!!また会える日まで互いに体調に気をつけようね!



7年間で振り返って

物質工学専攻（物質工学科出身）

橘 駿介

高専の7年間で私にとっての転機はコロナ禍であった。本科4年生時を直撃したそれにより、講義はオンラインとなり、見学旅行も中止となった。特にオンライン講義は問題であった。私だけかもしれないが、家でいつでも受講できると思うと、なかなか手につかず怠惰に過ごしてしまうのだ。さんざん休んだ後に対面授業が再開した際、さすがに「このままではマズイ」と気づき、そこからは気持ちを入れ替えて取り組んだ。コロナ禍は毒でもあり薬でもあったと思う。

その後の5年生から3年間は一瞬であり、本科の卒業式（写真で示した）からもう2年が経ったのだと思うと感慨深い。3年間の研究室生活で様々なことを経験し、時には自分にとってプラスにならないと思うこともあったが、そういった経験ほど後々役に立った。「今の自分にとって役立つかではなく、とりあえずやってみる」ことの大切さを



知ることができた。また、多くのことを教えて頂き、成長できる機会を頂いた指導教員並びに、支援頂いた友人、両親のおかげで今の自分があると思っている。この場を借りて感謝申し上げたい。

最後に、高専で学んだことや心構えを忘れずに今後とも邁進していきたい。



7年間で得たもの

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）

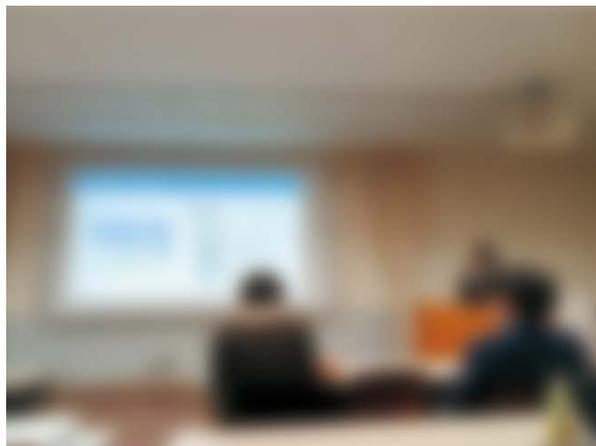
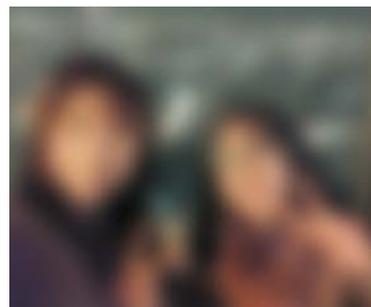
小林 優衣

7年間、私は高専で様々な経験を積み重ね、豊かな学生生活を過ごしました。この7年で得たものの中で一番大切なのは、深い友情と挑戦する力です。

入学した当時は、新しい環境に戸惑い、テストやレポートに追われ、入る学校間違えたな、と不安に駆られることもありましたが、振り返ってみると、これこそが私を成長させ、人としての力を培うきっかけとなりました。しかし、決して一人の力だけでは無く、熱心に指導して下さいました先生方、傍にいてくれた友達が居たからだと思います。週末遊んだり、たわいもない会話の時間を一緒に過ごした友達との絆は7年間という学生生活あってこそだと思います。この友情は私にとって、一生の宝物です。

また、研究活動では様々な経験を積み、京都での学会発表に出た際はやり切った後、一つの目標に向かって努力し、やり遂げる喜びを実感しました。

学生生活は与えられた時間をどう生かすかにかかっています。その時間を何もせずに過ごすのか、それとも目標に向かって挑戦し、成長するかは自分次第で大きく変わります。後輩の皆さんも楽しい学生生活だったと思える様に、残りの学生生活を思いっきり楽しんで下さい!





思いがけない成長

機械工学科/国籍：インドネシア

マイケル エドガー (エドガー)



私は元々関西の国立大学への進学を目指していました。しかし、合格したのは私立大学のみでした。その時に、友人のアドバイスで、長岡高専への進学という選択を選びました。高専は、3年後に大学編入が可能という良い点があり、進学を決意しました。長岡高専での生活は、想像以上に充実していました。まず、多くの友人と出会い、深い友情を育むことができました。先生やスタッフの方々も、常に優しく、困った時は相談してくれました。また、高専では色々な部活に参加する機会がありました。活動を通して、協調性やコミュニケーション能力を身につけ、人間的に大きく成長することができたと感じています。長岡高専での3年間は、学業面でも多くのことを学びました。専門的な知識や技術を習得することはもちろん、課題に直面しても諦めずに努力すること、そして時間管理や計画的に物事を進めることの大切さを学びました。さらに、高専には留学生も多く、彼らとの交流を通じて異文化理解を深めることができました。異なる文化や価値観を持つ人々と接することで、自分の視野を広げ、より多様性を尊重する人間へと成長することができたと感じています。長岡高専での経験は、私にとってかけがえのないものです。ここで学んだことを活かし、将来は社会に貢献できるような人材になりたいと思っています。長岡高専で学んだことを糧に、これからも努力を続け、目標に向かって邁進していきたいと思っています。



またいつか、長岡

機械工学科/国籍：カンボジア

リー モニワッタナ (ワッタナ)



長岡高専を離れる日がついにやってきました。長岡に足を踏み入れてからの3年間は、あっという間に終わってしまいました。初めて長岡高専に編入した

時、新しい友達ができることや勉強がちゃんとできるかどうかをとて心配していました。しかし、優しい同級生たちとチューターの皆さんのおかげで、友達ができ、先生方の支援で、学習面でも安心して高専での留学生活を送ることができました。今思うと短い時間でしたが、知識を身につけるとともに、毎日充実した生活を送ることができました。国際交流会や県内の研修旅行等、色々な学習外の活動を通じて、3年間の生活をより楽しく、意義深いものにすることができました。

来年から長岡を離れてしまいますが、最後に、3年生の時からずっと支えてくださった先生方と職員の方々、チューターと同級生の皆さん、そして留学生の仲間にも心より感謝したいと思います。長岡を離れて、新生活が始まっても、ここでの思い出をいつまでも忘れません。いつか会いましょう!!

長岡、ありがとうございました!!



素敵な思い出をありがとう

電気電子システム工学科/国籍：タイ

テイタヤ タンヤチャルーン (クリーム)



長岡工業高等専門学校に来て初雪を経験した瞬間のことを今でも鮮明に覚えています。すでに5回目の雪を経験し、もうすぐ6回目の桜を経験しようとしていることが信じられません。ここに来るまでは興奮と緊張でいっぱいでしたが、周りのたくさんの人のおかげで異国の高専に安心して入学することができました。そこで、この文章を感謝の気持ちとして使わせていただきたいと思っています。まず、長年にわたり共に成長してくれたタイの人々、そして私たちが交わしたあらゆる励ましの言葉に感謝します。そしてこれからも励まし合っていきたいと思っています。3人の日本語先生、そのうちの1人は私が日本に来る前からオンラインで教えてくれたことに感謝します。留学生を温かく見守ってくださった先生方にも感謝します。寮生とチューターの皆さん、特に同期の皆さん、初日から良い経験をさせていただきありがとうございました。この5年間の寮の先生方、一般科の先生方、電気電子システム

工学科の先生方、本当にありがとうございました。

5年生は卒業研究もあって一番忙しい年ですが、私にとっては一番幸せな年です。研究室にとっても楽しい雰囲気を作ってくれて、私の研究にコメントやアドバイスをくれて、私の日本語に辛抱強く付き合ってくれた研究室の友人、先輩たち、平井先生に感謝します。最後に、心配事があるときに相談できる存在であり、非常に思いやりとサポートをしてくださった2人の担任先生、福田先生と平井先生に特別な感謝を表したいと思います。辛抱強くお待ちいただき、またアドバイスをいただきましてありがとうございました。先生のサポートのおかげで、私の高専生活はより快適で楽しくなりました。あと2年間長岡高専で過ごすことができるとてもうれしいですし、ここにいる皆さんともっと楽しい思い出を作れることを楽しみにしています。



素敵な学校

電気電子システム工学科／国籍：マレーシア
ヌルヒダヤビンディ ノール アジザン (ヌル)



日本に留学することが私の夢ですが、日本に来る前、ムスリムをあまり知らない国で、一人で生活ができるかどうかとても心配でした。私は日本語能力があまり高くなって、特に聞き取る能力に不安がありました。また、来日時に長岡高専の中でヒジャブをかぶっているのは私しかいませんから、大丈夫かなと感じていました。でも、長岡高専に来たら、言葉で表せないほど安心しました。

私にとって、電気電子システム工学科の勉強は大変ですけど、先生方はとても優しく、いつも分かりやすい日本語を使って教えてくれるので、なんとか授業の内容についていくことができました。チューターも言葉の読み方を教えてくれたり、ハラールの和食を提供することまで助けてくれ、地震時にも心配をしてくれる友達がいるので心強いです。留学生達も自分の家族みたいに感じて、今は日本で寂しさをあまり感じません。

確かに長岡高専に入ることは一つの選択ではありましたが、私にとって、この学校に選ばれたことは祝福で、専攻科に進学することも決まっています。これからの2年間もよろしくお願いします。

が、私にとって、この学校に選ばれたことは祝福で、専攻科に進学することも決まっています。これからの2年間もよろしくお願いします。



Timeless memories

電子制御工学科／国籍：タイ
ポーンパイリン シワシヨックシャイ (サンマー)



私は3年生の時に長岡高専に編入してきました。日本に来る前は、日本語、新しい環境での生活、友達ができるかなど、様々な不安がたくさんありました。しかし、日本に来てから、クラスメイトと特にチューター、先生方、留学生の友達が色々サポートしてくれ、温かく歓迎してくれたおかげで、日本生活に慣れてきました。ポコポコの日本語を使っていた私と話し付き合ってくれた皆さん、ありがとう(笑)。困っていた時でも、応援してくれたり、力になってくれたりする友達や後輩、先輩に、言葉にできないほど心の底から感謝しています。

素晴らしい人たちとの出会いで、宝物のような思い出ができ、これらは一生大切にします。もちろん、いい思い出だけではなく、苦労もありましたが、すべての出来事が私を今日の自分に成長させる手助けとなりました。これから、私たちはお互いの人生の道を別れてしまいますが、私はここから先も皆さんの人生の旅路を見守り、ずっと応援していきたいと思います！

3年間ありがとうございました <3





一期一会

電子制御工学科/国籍：マレーシア
リム トン エン (リム)



2021年の秋、私は長岡高専に足を踏み入れました。それで、美夢と悪夢が交錯する人生を始めました。振り返ってみると、徹夜するレポート、恐ろしい受験勉強、赤点の繰り返し物理、終わりの見えない卒研など、追い詰められる高専生活でした。

しかし、そんな苦難を経験した過程で、多くの楽しいこともありました。家族のような留学生と過ごす日々、見学旅行、4年生の研修旅行など、本当に楽しかったです。さらに、納豆、生卵、桜、茶道、生け花、花火、浴衣、紅葉、着物、雪、スノボ…人生で初めて経験したこともたくさんありました。すべての思い出は、一生忘れません。

「つらいときは空を見上げてごらん」。長岡の星空は本当に素敵です。あっという間の2年半でしたが、人生で一番成長した時期だと思います。

最後に、指導して下さった先生方、関わって下さった皆様、支えて下さった皆様に心から感謝しております。これから専攻科の2年間、引き続きよろしくお願いします！



の活動を行ってくれるインターアクトクラブの先生たちと学生課の方々、積極的に色々教えてくれた先生と教職員方、そしていつも助けあったり、もたれあったりしてくれる留学生の先輩、後輩と友達たち、本当に何から何まで感謝しています。皆様のおかげで、大事な思い出になる楽しい経験が一杯できました。残り専攻科の2年間もよろしくお願いします！



ユニークな旅

物質工学科/国籍：モンゴル

ハダンチュールン エンフポロル (ロナ)



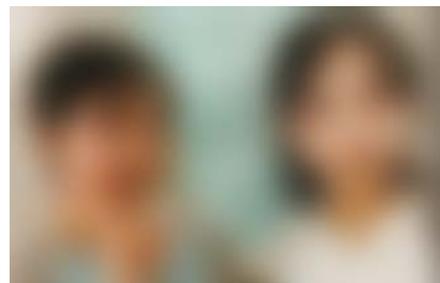
高専での思い出は、多くの人にとって大切に特別なものであります。この思い出は、各人が高等教育を受けている間に経験するユニークな旅の反映であると思います。

キャンパスに着いた初日から、慣れない環境で色々な課題を乗り越えることから深夜の勉強まで、高専での思い出にはさまざまな感情や経験が含まれた。講義に出席して示唆に富む議論をしたり、課外活動に参加したり、新しい興味や情熱を探索したり。

徹夜してレポートを仕上げたとき、試験の合格を祝ったとき、または単に高専が提供する自由と独立を楽しんだときなど、これらの思い出は、この変革期に起こる成長、学習、自己発見を思い出させる役割を果たすと思います。

厳しい学業生活の中で、友情の絆や仲間との素朴な喜びこそが、長岡高専での経験を真に豊かにし、私たちの心と思い出に忘れがたい刻印を残すものであることを思い出させてくれた。

短く言うと色々大変だったけど、みんながいてくれたからよく頑張った！へへ



Serendipity

物質工学科/国籍：タイ

ナパット チャルーンナパーラット (ポー)



今度長岡高専に留学すると合格通知が来た日は約6年前でした。その頃、「長岡市」という名前さえ初めて聞き、知ったのはここが日本の北部にあって雪がよく降るそうで、当時の校長先生が優しくな叔父さん(日本での入試に会って、少し話した)であることでした。だから私は長岡高専を第三志望にしたが、第一と二志望を落ちて、結局ここに来ることになりました。その時私は気づかなかったが、今までの5年間を振り返ってみるとここに来られて本当に良かったです。そして、大体そのよかった5年間を作ってくれたのはこの皆さんです。最初の日から笑顔で話してくれた寮生とクラスの友達たち、何もわからなかった私に色々説明し、相談に乗り、いつもサポートしてくれるチューターたちと先生方、いつも楽しい留学生



感謝!
機械工学科
河田 剛毅

元々、漠然と研究職に就きたいという思いがあったところに、たまたまご縁があり、大学院修士修了後、すぐに本校に着任しました。最初のうちは、それまで無関心だった教育や学生指導面の仕事に戸惑い気味でしたが、慣れてくるといろんな学生の相手ををすることに面白味を感じるようになり、今ではそのような関わりが持てる仕事

に赴けたことが幸運であったと思っています。とは言え本校での教員生活は、楽しいことより苦しいことの方が多かったように思います。中でも一番大きな出来事は平成16年の中越地震です。本校も大きな被害を受け、しばらくは不自由な状態が続きましたが、古き良き時代もこの機を境に終わりを告げた気がします。

最後の2年間ほどは体調の関係で、特に機械工学科のみなさまにはご迷惑をお掛けして大変申し訳ありませんでした。最後に私と関わりを持って下さった全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました!

1年を振り返って

学生海外派遣研修、短期留学生受け入れを再開しました

教務主事 村上 能規

コロナ感染拡大後、一番、再開が難しいと思われてきた国際交流活動ですが、昨年度3月頃から、ようやく学生海外派遣研修を部分的に再開、今年度は夏休み期間に3件の学生海外派遣研修、海外からの短期留学生受け入れも今年度4月から再開し、長岡高専の国際交流活動をようやくコロナ前に戻すことができました。今年度の学生海外派遣はマレーシア、モンゴル、タイの3カ国で、学生交流も実施しました。久々の学生海外派遣ということで、高学年の本科生でも初めての海外研修というケースも多くあったようです。短期留学生の受け入れもシンガポール、タイ、フランス、そして、フィンランドと多彩な国から来

ています。逆に、長岡高専生が数ヶ月の海外短期留学する制度も復活しました。このような活動を通して、高専入学時からグローバルな感性を長岡高専生に育てることができればと考えています。今後とも長岡高専のご支援よろしくおねがいします。



学生海外派遣研修におけるIETモンゴル高専学生との交流の様子

多様な分野での本校学生の活躍について

学生主事 新井 好司

今年度より、全ての行事が制限の無い状態で行うことができました。5月には交千祭が、11月にはクラスマッチが開催されました。特に5月の交千祭は、これまでの5月の文化競技会と10月の体育祭を統合して行われたものであり、「交千祭」の名前は学生によって生み出された名前です。そして、11月には未工祭が久しぶりに飲食可の状態で開催され、多くの方に来校して頂きました。

長岡高専の特徴として、学生の活躍がめざましい、と言うことができますが、特に今年度は、例年以上に様々な分野での学生達の活躍が多く見られました。運動部では過去に無く

多い九つの部が全国高専大会に進出しました。また、ロボティクス部では高専ロボコン大会で23年ぶりにロボコン大賞を受賞し、メンバーがNHKの「魔改造の夜」に出演して、多くの注目を受けました。その他にも、多くの課外活動や研究活動で、様々なコンテスト等での活躍が見られました。

来年度以降も引き続き、様々な分野で多くの学生の活躍が見られることを期待したいと思います。



11月未工祭

鍵となるのは交流機会の再開と一層の拡がり

寮務主事 小川 秀

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、寮でも様々な交流が復活しました。食堂ではパーティションがはずれ、和やかな会話と笑顔が戻りました。3日間のフル日程で



夏の寮祭でのキャンプファイヤーの様子

実施された夏の寮祭ではグラウンドでのキャンプファイヤーなどコロナ禍前のスタイルを継承しつつも、自作のミニ動画上映など新たな企画も登場しました。

火曜日に悠和寮ラーニングスペースで行われる「グループ学習支援」では上級生が1年生の学びを継続的にサポートしています。さらには食事委員会による食事改善アンケートの実施、意見箱からのQ&A作成など寮友会の積極的な活動も展開されています。今年度（R6年1月現在）、22名の短期留学生を迎えることもできました。

留学生を含め310名余が生活する本学生寮では多様なトラブルも生じ、教職員でもなかなか解決の難しいこともあります。そこでやはり鍵となるのは生活する寮生相互の力です。今後も適切な感染症対策に留意しながら、寮生活を充実させる原動力である寮生の交流が一層進展することを期待します。

卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰 (令和6年3月11日時点)

長岡高専の学則に定める賞

特別表彰

電子機械システム工学専攻	安澤 秀真
電子機械システム工学専攻	坂田 北登
電子機械システム工学専攻	渡辺 麟
物質工学専攻	田崎 傑士

功労賞

機械工学科	井上 凌空
機械工学科	樋口 剛琉
電気電子システム工学科	濱田 光

電子制御工学科	西脇 光
物質工学科	伊部 智也
物質工学科	大門 双来
物質工学科	山口 ひより
環境都市工学科	高橋 悠介
環境都市工学科	長谷川 琉斗
環境都市工学科	屋代 愛珠斗

精励賞

電気電子システム工学科	齊藤 雄斗
環境都市工学科	飯野 祐輝

皆勤賞

機械工学科	五十嵐 啓仁
機械工学科	谷内 詞哉
電気電子システム工学科	中倉 拓哉
電気電子システム工学科	渡邊 拳斗
電子制御工学科	関 啓祥
電子制御工学科	滝沢 偉大
電子制御工学科	福田 啓悟
環境都市工学科	小林 瑚伯

各種学会賞等

令和5年度 独立行政法人国立高等専門学校機構 学生表彰 理事長特別表彰	物質工学専攻	田崎 傑士
第21回金属学会・東北支部研究発表大会 最優秀ポスター発表賞	電子機械システム工学専攻	安澤 秀真
第21回金属学会・東北支部研究発表大会 最優秀ポスター発表賞	電子機械システム工学専攻	坂田 北登
The 2024 IEEE International Conference on Consumer Electronics (ICCE 2024) Best Session Presentation Award	電子機械システム工学専攻	池上 隆生
The 2024 IEEE International Conference on Consumer Electronics (ICCE 2024) Best Session Presentation Award	電子機械システム工学専攻	貝沼 遼太郎
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	五井 響平
電子情報通信学会信越支部 学生奨励賞	電子機械システム工学専攻	高野 光生
第13回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム 優秀口頭発表賞	物質工学専攻	田崎 傑士
日本高専学会研究奨励賞 優秀賞	物質工学専攻	田崎 傑士
日本機械学会 畠山賞	機械工学科	池田 勇月
第13回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム 優秀ポスター発表賞	物質工学科	岩井 真
第13回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム 優秀ポスター発表賞	物質工学科	大門 双来
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	渡辺 絢菫
日本化学会関東支部 支部長賞	物質工学科	ナパット チャーンナパーラット
令和5年度 全国高専土木工学会 近藤賞	環境都市工学科	上村 光輝

同窓会長賞

バスケットボール部

電気電子システム工学科	濱田 光
物質工学科	伊部 智也
環境都市工学科	高橋 悠介
環境都市工学科	長谷川 琉斗
環境都市工学科	屋代 愛珠斗
電気電子システム工学科	松本 大輝

陸上競技部

電気電子システム工学科	細貝 晃誠
-------------	-------

水泳部

機械工学科	土田 流輝
環境都市工学科	安部 彩寧

体操競技

機械工学科	五十嵐 啓仁
-------	--------

全国高等専門学校ディープラーニング コンテスト2023

電気電子システム工学科	清水 日菜子
電気電子システム工学科	中倉 拓哉
電子機械システム工学専攻	池上 隆生

地方創生☆政策アイデアコンテスト

物質工学科	山口 ひより
物質工学科	ナパット チャーンナパーラット

進路状況 (令和6年3月11日時点)

学科

学科	区分	卒業者数	進学者数	就職者数			研究生等
				県内	県外		
機械工学科		41	25	16	9	7	0
電気電子システム工学科		46	21	25	11	14	0
電子制御工学科		39	33	6	3	3	0
物質工学科		43	28	15	5	10	0
環境都市工学科		36	22	14	6	8	0
計		205	129	76	34	42	0

専攻科

専攻	区分	修了者数	進学者数	就職者数			研究生等
				県内	県外		
電子機械システム工学専攻		19	7	12	6	6	0
物質工学専攻		8	4	4	1	3	0
環境都市工学専攻		9	3	6	1	5	0
計		36	14	22	8	14	0

高志台さくら基金の お知らせ

長岡高専の学生の教育研究に関する活動の支援を行います。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。

- 学生への支援内容 教育研究活動、奨学金の給付、課外活動、就職活動、海外研修、国際交流、社会貢献活動、学習環境整備 など
- 令和5年度受入実績 **18件 2,145,687円** (R6.3.1現在)
- 税法上の優遇措置 個人の方は所得税・住民税控除が受けられます。法人の方は全額損金に算入できます。

【基金ホームページ】 <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/sakura-fund/>
 【お問い合わせ先】 長岡工業高等専門学校総務課総務・企画係
 T E L : 0258-34-9311
 E-mail : kikin@nagaoka-ct.ac.jp



ホームページQRコード

学生の生の声を集めた「高志台学園ひろば」 <https://www2.st.nagaoka-ct.ac.jp/koho/> (要ID、パスワード) もご覧ください。